

入院診療計画書

《OREVF_A》 患者氏名：《ORIBP_KANJI》 様

《DYTODAY》

病名：腸重積 症状：不機嫌、吐き気、嘔吐、血便

月日	/	#VALUE!	#VALUE! ~ /
経過	入院当日	2日目	3日目 ~ 退院
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 便に血液が混じっていない 		<ul style="list-style-type: none"> 便に血液が混じっていない 食べても嘔吐がない 機嫌がよくなる
治療計画 (点滴・内服)	<ul style="list-style-type: none"> 絶飲食にて腸管の安静をはかり回復を待ちます 必要な水分を補充するため、24時間点滴を行います 		<ul style="list-style-type: none"> 点滴は嘔吐・下痢の回数や食事の量をみながら中止します
処置	<ul style="list-style-type: none"> 点滴の漏れがないか確認していきませんが、点滴刺入部の痛みや腫れがある時にはお知らせ下さい 		
検査	<ul style="list-style-type: none"> 必要があれば採血やレントゲンの撮影を行います 		
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 入院中は、感染防止のため室内のみで活動できます 入院や点滴により行動が制限されるためストレスが生じます <p>最小限のおもちゃであれば持参しても構いませんが、周りのお子さんの迷惑にならない様にお願ひします</p>		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 腸管を休めるため、食べたり飲んだりできません 	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気のおさまりを待って、水分（水やお茶）を始めます 水分摂取後も吐き気がなければ、やわらかい食事を始めます 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体を拭きます 	→	→
排泄	<ul style="list-style-type: none"> おしっこや便も室内で行います 排泄物の処理は看護師が説明します おしっこ便の回数を記録してください 		
教育 指導 説明	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院中の生活について説明します 入院中はご家族に常時付き添っていただきます 部屋を出入りされる時やオムツ、排尿・排便後、嘔吐時の手洗いを徹底して下さい お子さんの点滴は輸液ポンプで管理していきます アラームが鳴りましたらお知らせください 子供の行動は予想がつかず、ベッドからの飛び降りや転倒の危険があります お家の方はなるべくお子さんから目を離さないようにお願いします 目を離す時やそばを離れる時は必ずベッド柵を上げて下さい 		<p>退院後の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 入浴は退院後より可能です 通園・通学は退院時にお知らせします 不機嫌（腹痛）が続いたり、嘔吐や血便（いちごジャム様）がみられた時は、連絡の上受診して下さい 
特別な栄養管理の 必要性	<input type="checkbox"/> 有 栄養状態に合わせた栄養管理を行います <input type="checkbox"/> 無		

注1：病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変われるものです。

注2：入院期間については、現時点で予想されるものです。

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館

小児科 主治医：《ORDCT_S_A》 ④ 担当医：《ORDCT_T_A》 看護師：《ORDCT_N_A》 ④

上記について説明を受けました。 平成 年 月 日

患者氏名： _____ ④（印鑑がない場合は自署）

親族氏名： _____ ④
 _____（患者本人が未成年または親族の同意が必要な場合に記入）